

平成 28 年 第 1 回 日本救急医学会 男女共同参画推進特別委員会 議事録

日時：平成 28 年 1 月 28 日（木）10:00～12:00

場所：日本救急医学会事務所

出席：

委員長 畝本 恭子

委員 阿南 英明

岡田 昌彦

小澤 昌子（新委員）

木田 真紀

木村 昭夫

角 由佳

並木 淳

並木 みずほ

本多 ゆみえ

矢口 有乃

担当理事：田中 裕

欠席：

委員 木田 佳子（新委員）

長谷 敦子

議事

1. 「2016 年度専攻医募集・3 委員会合同タスクフォース（仮称）（以下 TF）」発足について

田中担当理事より説明 男女共同参画推進特別委員会からは、阿南先生、角先生、並木みずほ先生を TF に指名させていただき、同日、学生・研修医部会と、広報委員会の先生方とともにキックオフ。（木村先生もこのミーティングに出席）

2. 新委員紹介

1. 小澤 昌子（あきこ）先生 福島県立医大 地域救急医療支援講座・高度救命救急センター

2. 木田 佳子先生 広島大学病院 救急科・高度救命救急センター
今回はご欠席

3. 今後の活動について

1. 委員会としての情報発信の充実

➤ 方法

- 前回の検討では、当委員会独自のホームページの立ち上げは、コスト面やコンテンツのアップロードの労力などからみても困難なため、従来通り、学会HPのバナーから移動できるページに張り付けるしかない、との結論
- 今回のTFの活動にもよるが、若手医師が訪れやすい独自ページは必要なので、そこに載せる？
- どのように検索すればそのページにたどり着けるか、実際にはアクセス数は期待できないのでは

discussion 1: 忙しい若手医師、子育て中医師は、ゆっくりホームページをみる余裕もない。やはり SNS など手軽なものがよく、身近な情報を得たり、同様に頑張っている女性医師の書き込みをみて勇気づけられたり、解決策を見出したりできる。

➤ 方法

- SNS などの媒体として、入りやすく、ある程度制限がかけられるものとしては FB ではないか。
- まずは、委員会としてではなく、有志の FB として、‘キラキラ 救急’

➤ コンテンツ

- ロールモデル（女性救急医ラウンジでのスライド（コアメンバー、特に男性からも追加）
- 働きやすい職場の取り組み紹介＝ホワイト施設紹介？

discussion 2: ホワイト施設（ブラック企業と対極）の紹介・アンケートについて

- 今からアンケート内容を検討して、次回学術集会には間に合わない
- アンケート結果で理想形や現状はわかるかもしれないが、理想形でなくても工夫をして頑張っておられるところもある。
- 要 検討。

2. 総会企画

- 講演 1：福井大学 林 寛之先生には、昨年、口頭で講演依頼
- 講演 2：ワークライフバランスに関わる、勤務上の法律について

- パネルディスカッション
 - ◆ 当委員会で、救急医学会として女性医師、若手医師対象に取ったアンケートがデータとしてある
 - ◆ 他の学会の‘男女共同参画’の取り組みとの比較

などが候補に挙がった

3. 次回開催 平成 28 年 3 月 24 日（木） 10:00～12:00 日本救急医学会事務所